

あそびまつりだよりNo.6

2019. 9. 25
頌栄幼稚園

～玉入れあそび（年中・年長）～ 2回目の玉入れは、年中・年長混合チームで紅 v s 白で遊びました。

「大きい組からする」と審判の合図で始まりました。



どんどん玉が入り、全部入りました。
審判「白の勝ち」白組「やったー！！」
審判「これで終わり。」

『まんなか組やってない！！』

教師「本当だね。どうしたらいい？」
子どもたち「途中でしたらいい」「代わる」。
「あれ？」と気付く、こんなところから子どもたちと創っています。

体育館だけで終わりと思っていたのですが「もう一回やる！」ということでお外で続きを始めました。今度は年中組もできるかな？

次の審判が「年中組からスタート」と今度は年中から始まりました。
「年中さんまだしてないから」と考えたそうです。
「おわりー。次は年長組」と上手く変わっていました。審判の声を聞いて動く子どもたち。先ほどみんな気付いたことを、みんな覚えていました。



先に全部入ったのは…「白の勝ち！」
お外でも白組の勝ちでした。（何とか交代してできた…と教師もホッとしました。）すると

「紅の方が玉が多いからだよ！」



やっと出番だ！と年中組。張り切って投げています。

「じゃあ数えてみよう」と年長の子の発信で玉の数を数え始めました。何個だったと思いますか？



「白は207個！」
「紅は507個！！」
「紅が多い！」
「だから白が勝ったのか〜」

え〜！？本当かなあ？でも多いほうが負けてしまうという考えは合っているなあ。また子どもたちとちゃんと数えようと思います。まだまだ楽しい事が起こりそうな玉入れです。